

# 「東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故を振り返り3.11に学ぼう」 について

福島県教育委員会

ひがしにほんだいいしんさい  
**東日本大震災と**  
ふくしまだいいげんしりよくはつでんしょ  
**福島第一原子力発電所の事故を振り返り**  
**3.11に学ぼう** 福島県教育委員会

2011年3月11日、東日本が大きく揺れました。巨大地震や大津波による東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故のことを伝え続け、自他の命を守り、生き抜く力を身に付けるため3.11に学びましょう。

ほくは、いんさいをしらない、おんかのなかにいたは、おかさん、しんさいのはなをしきいで、かなしいもちになった。ぼくは、ふくしまにげんきにうまがれたから、これからはげんきにうまがなから、

（相馬市、小学生）

▲いわき市アクアマリンふくしまの地割れ ▲須賀川市八幡地区の建物の倒壊

震源名：平成23年東北地方太平洋沖地震	発生日時：14時46分
震央地名：三陸沖	地震規模：マグニチュード(M)9.0
震内最大震度：6強	最大継続時間：約190秒
震内最大の津波：高さ9.3m以上	

▲相馬市沿岸部の津波の跡と火災 ▲JR管線橋の新地駅 ▲相馬町の津波の様子

福島県教育委員会では、毎年3月11日を機会に、各学校において防災教育や放射線教育の授業等を積極的に行うことを勧めているところです。

そこで、東日本大震災やそれに伴う福島第一原子力発電所の事故（以下、原発事故）について、自他の命を守るために当時の状況等を学び、災害について考え続けていく児童生徒に育ってほしいという願いから、「東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故を振り返り3.11に学ぼう」（以下、「3.11に学ぼう」）を作成しました。

各学校で学んでいる防災教育や放射線教育の取組の例をいくつか紹介いたしますので、御家庭でも、この機会に防災について改めて話題にしてみてください。

### 【学校での取組の例】

- 「3.11に学ぼう」の災害当時、自分は何歳で、どこで何をしていたのだろうか。
- 巨大地震や大津波の規模は、どのくらいだったのだろうか。
- 自分の学校や地域に、地割れや倒壊、津波等の被害はあったのだろうか。
- 「3.11に学ぼう」に載っている原発事故はどのようにして起きたのだろうか。
- 放射性物質、放射線、放射線量は、どう違うのだろうか。
- モニタリングポストはなぜあるのだろうか。
- 放射線について、科学的に説明できるだろうか。
- 災害の種類で、避難の仕方は変わるのだろうか。
- 地域のハザードマップには、どのようなものがあるのだろうか。
- 日頃の備えは、十分だろうか。
- 避難所で助け合うために、何が必要だろうか。

